

# 内閣不支持率8割超に

## 報道各社 世論調査

19日まで発表された報道各社の世論調査で、岸田政権の内閣支持率が過去最低を更新しています。「毎日」の調査(17、18両日実施)では、支持率が前月から7割下落して14%となり、2009年2月の麻生政権以来の低水準を記録しました。不支持率は前月から10割増の82%で、同紙が調査を始めた1947年7月以来で最高。さらに「朝日」の調査(17、18両日実施)で21%、「産経」・FNNの合同調査(17、18両日実施)で22

## 支持率は14% 過去最低更新

・4%、「読売」の調査(16、18日実施)で24%となり、いずれも過去最低でした。「読売」調査では、派閥幹部の説明が十分だと「思わない」が93%だったのに対し、「思う」が3

自民党派閥の政治資金パーティー収入をめぐる裏金事件へは、引き続き「国民から厳しい目が向けられています。」

「毎日」調査は、自民党内の調査で事件の解明が進むのかの設問で、91%が「思わない」と回答。同記事は政治資金収支報告書に記載しなかったキックバック分には脱税の疑いがあることを説明。その上で、93%が問題のあった議員を国税当局が「調査すべき」と答

えしました。統一協会への解散命令請求を所管する盛山正仁文部科学相は、21年の衆院選で協会のタミー団体から選挙支援を受けていたと指摘されています。「毎日」は78%、「朝日」は68%が同氏の文科相交代を求めています。